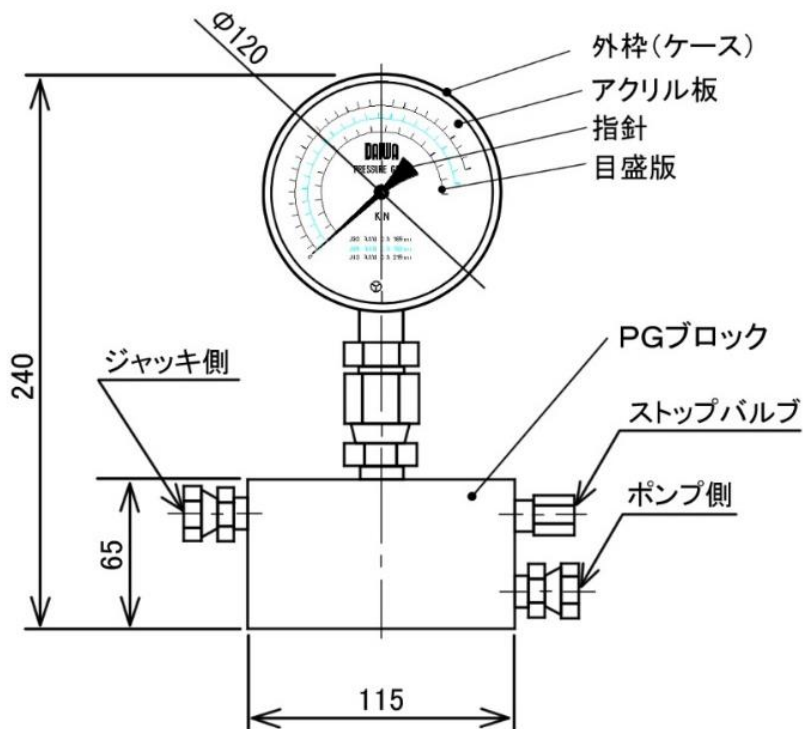


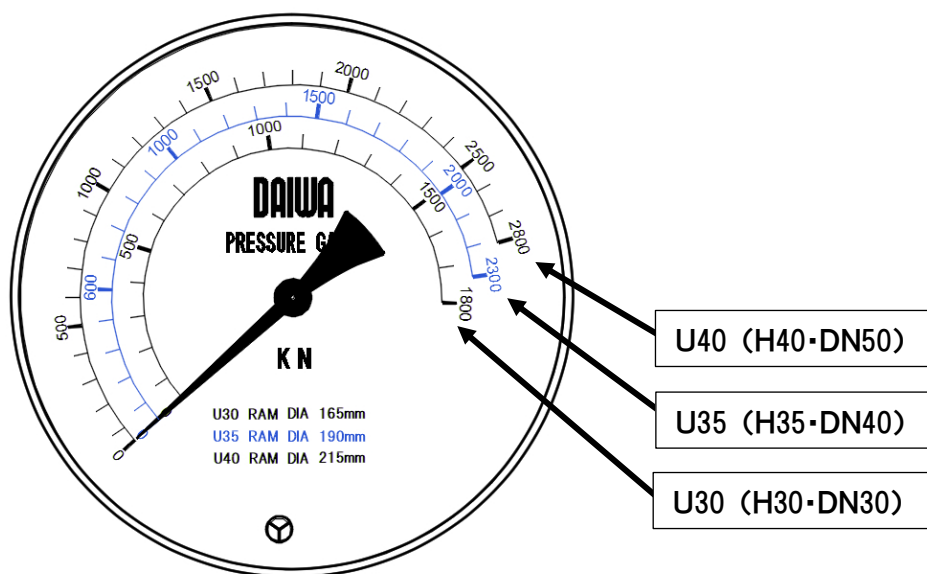
PGB(切梁軸力測定用荷重計)

1.各部の名称



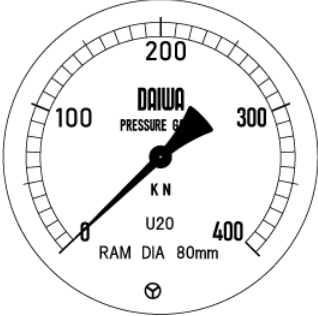
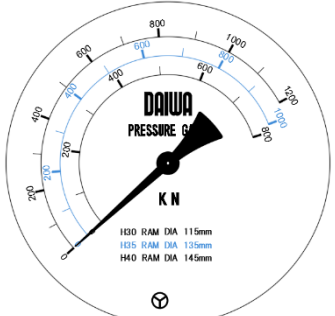
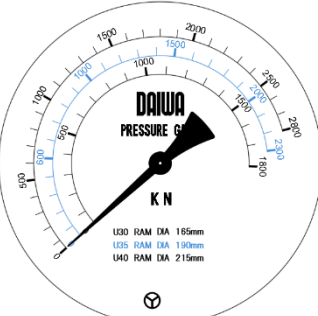
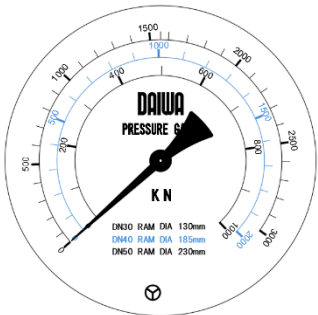
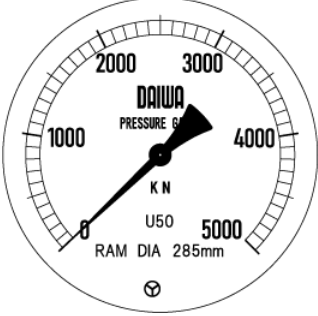
2. 三重目盛板の見方

使用するユニバーサルジャッキ（H型・U型・DN型）を確認し、指針の示す値を読みます。
※目盛板の単位はキロニュートン（KN）表示です。



3.目盛板の種類

PGB の目盛板はユニバーサルジャッキの機種毎に下記の種類があります。

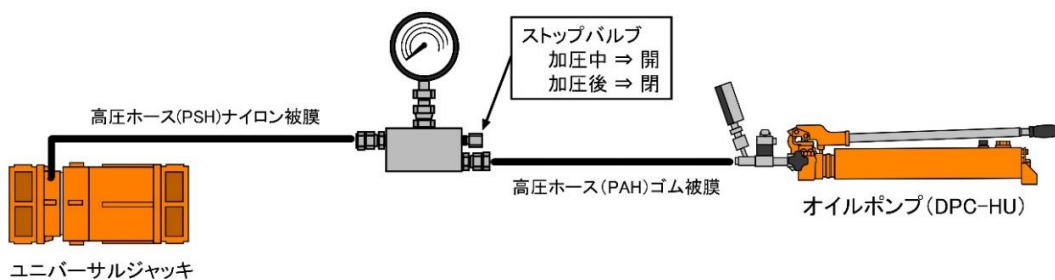
	H 用	U 用	DN 用
H200 H250			
		U20 / U25	
H300 H350 H400			
	H30/H35/H40(兼用) 内側:H30 目盛 中央:H35 目盛 外側:H40 目盛	U30/U35/U40(兼用) 内側:U30 目盛 中央:U35 目盛 外側:U40 目盛	
H500			
		U50	DN30/DN40/DN50(兼用) 内側:DN30 目盛 中央:DN40 目盛 外側:DN50 目盛

Hタイプ・Uタイプ・DNタイプのユニバーサルジャッキ用目盛板

4.配管

下図に示すようにユニバーサルジャッキとPGB間は専用の高圧ホース(PSH)で繋がります

①H/Uタイプ(単動式)



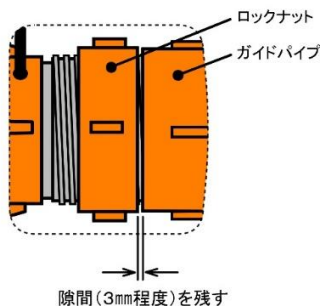
5.加圧(ジャッキアップ)

①オイルポンプを操作し、加圧作業を行います。

※PGBのストップバルブを開いていることを確認して下さい。(閉まっているとオイルは流れません。)

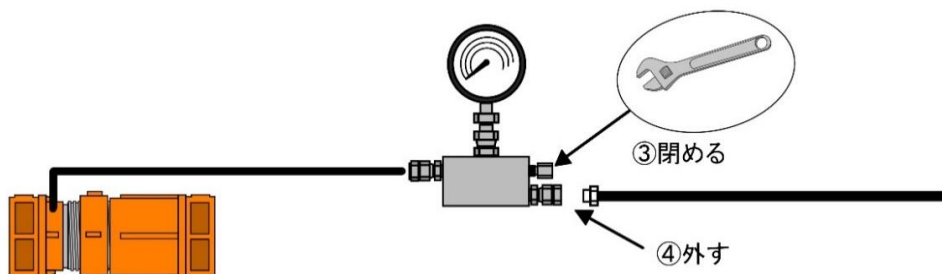
②ユニバーサルジャッキのロック

加圧後ロックナットをガイドパイプ側に閉めますが、ロックナットとガイドパイプとの間に3mm程度の隙間を残しておいてください。
※ロックナットを完全に締め切るとユニバーサルジャッキの反力(圧力)がPGBに伝わらず、“0”KNを示してしまいます。



③PGBのストップバルブを閉めます。

④解体-PGBのポンプ側ホースを外します。

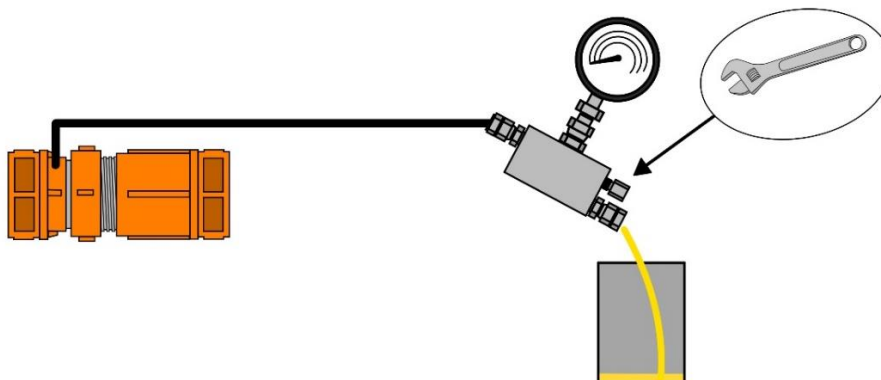


6.減圧(ジャッキダウン)

①ユニバーサルジャッキのロックナットを注油口側に手で回して戻します。

②オイル(廃油)受けの容器を用意し、PGBのストップバルブをスパナで緩め開くと、下の注油口からユニバーサルジャッキ内のオイルが排出されます。(ジャッキストロークが縮みます。)

※ストップバルブは一気に開くと圧力の掛かったオイルが周辺に飛び散ります。ゆっくりと少しずつ開くようにして下さい。

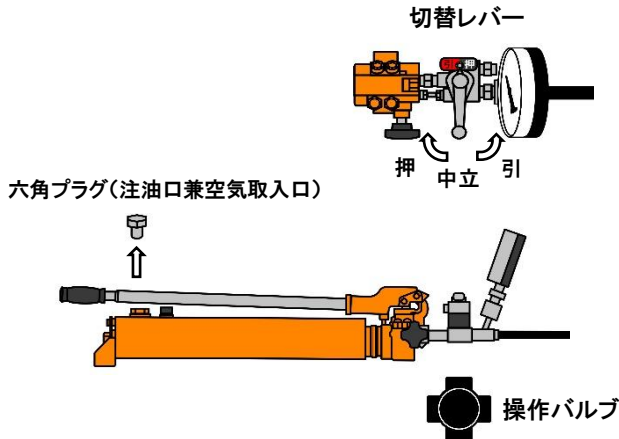


手動ポンプ(DPC-DN)

手順

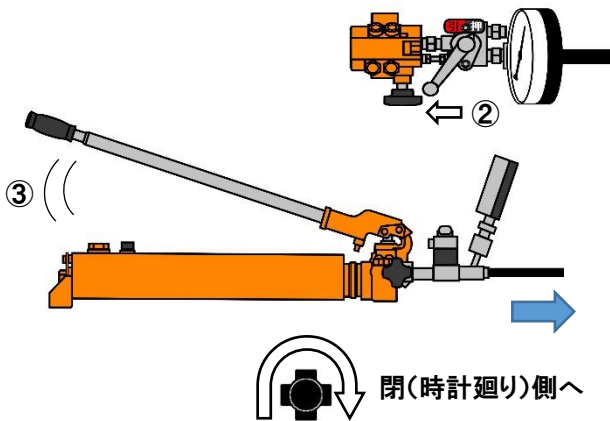
ユニバーサルジャッキ(DN-type)

- ① タンク注油口の蓋(六角プラグ)をゆるめ、タンク内に空気が入るようにします。
 ※ 給油口の蓋を閉めたまま操作をしますとタンク内圧が上がり故障の原因になります。

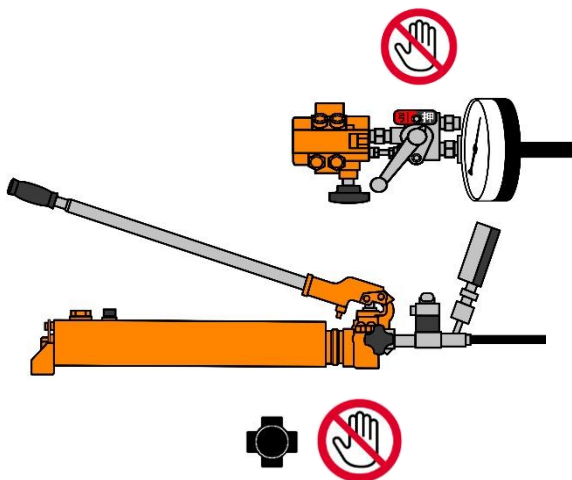


⚠ タンク内のオイルの残量に注意!

- ② 切替レバーを押し側にし、操作バルブを閉めます。
 ③ 荷重計の値を見ながら所定の加圧量又は、ストローク量になるまでハンドルを動かします。



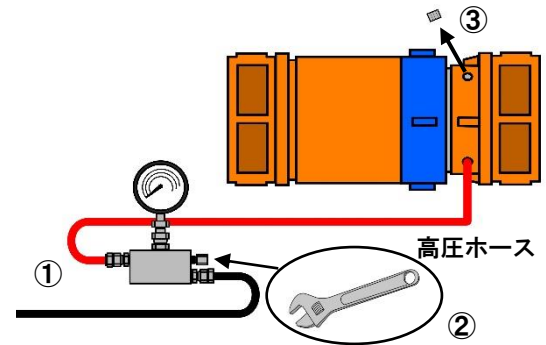
- ④ 所定の加圧量或いはストローク量に達したら手動ポンプの操作を中断します。



ジャッキ操作中はポンプに手を触れない!

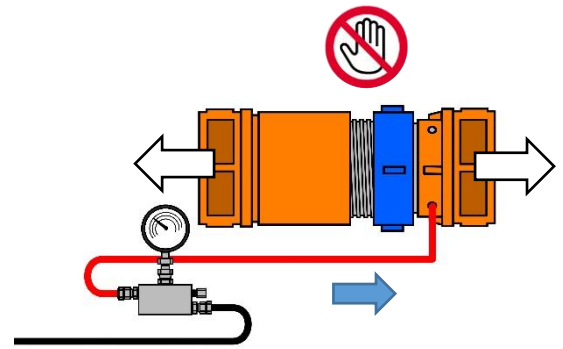
1 加圧準備(配管)

- ① ジャッキの押し側注油口とPGB(軸力計) PGB(軸力計)と油圧ポンプ其々を高圧ホースでつなぎます。
 ※ PGB(軸力計)の高圧ホース接続はポンプ側とジャッキ側が決まっています。
 ② PGB(軸力計)のストッパーピンを緩めます。
 ③ ジャッキの引側のキャップを外します。



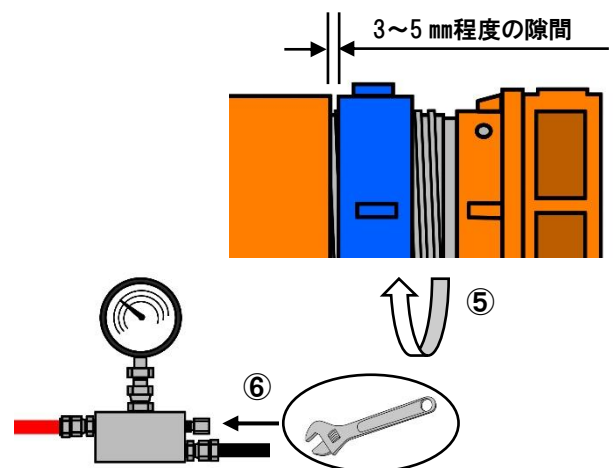
2 加圧

- ④ ジャッキ内部にオイルが送り込まれ、ジャッキのストローク(ネジ部)が伸びます。

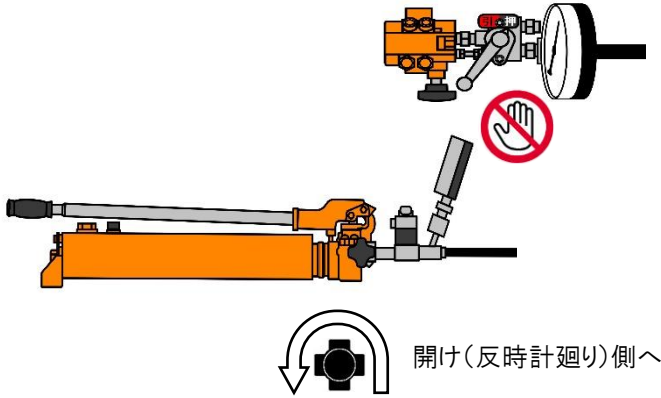


3 ロック①(ストローク)量維持

- ⑤ 手でロックナットを廻し、胴体側に移動させます。ロックナットと胴体の間を 3~5 mm程開けます。
 ※ ロックナットと胴体が密着すると軸力が測れません
 ⑥ PGB(軸力計)のストッパーピンを閉めます。

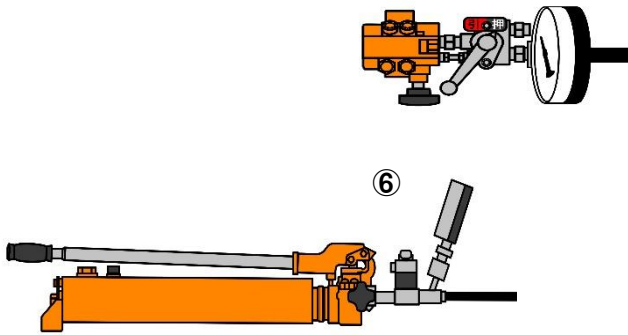


- ⑤ 操作バルブをゆっくりと少しずつ開け側に廻し、圧力を抜いていきます。
 ※レバー操作で減圧すると故障の原因となります。



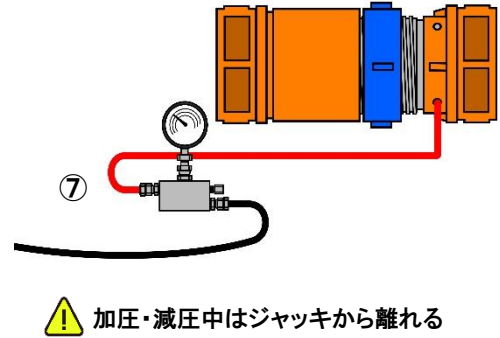
⚠ 急なバルブ操作は大変危険です！

- ⑥ 荷重計の値が "0" になったことを確認してから高圧ホース解体作業に移ります。



4 ロック②(ストローク)量維持

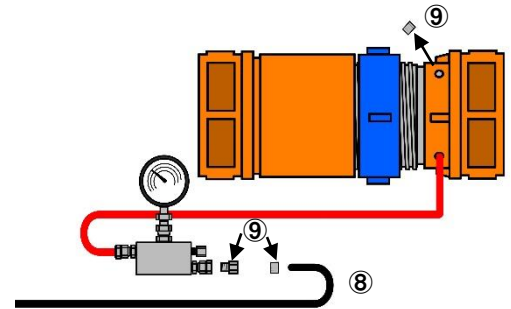
- ⑦ PGB(軸力計)と油圧ポンプの間の高圧ホースがたるみ始め、高圧ホース内の圧力が抜けて行くのがわかります。



⚠ 加圧・減圧中はジャッキから離れる

5 配管解体(片付け)

- ⑧ 圧力が抜けきったら PGB(軸力計)のポンプ側の高圧ホースをスパナで外します。
 ※ 高圧ホース内には残圧があるので、少しずつ緩め圧力を逃しながら行います。
 ⑨ PGB(軸力計)と高圧ホース、ユニバーサルジャッキ注油口(引側)に蓋をします。



⚠ 周囲にオイルが飛び散った場合、速やかにウエス等で拭き取る